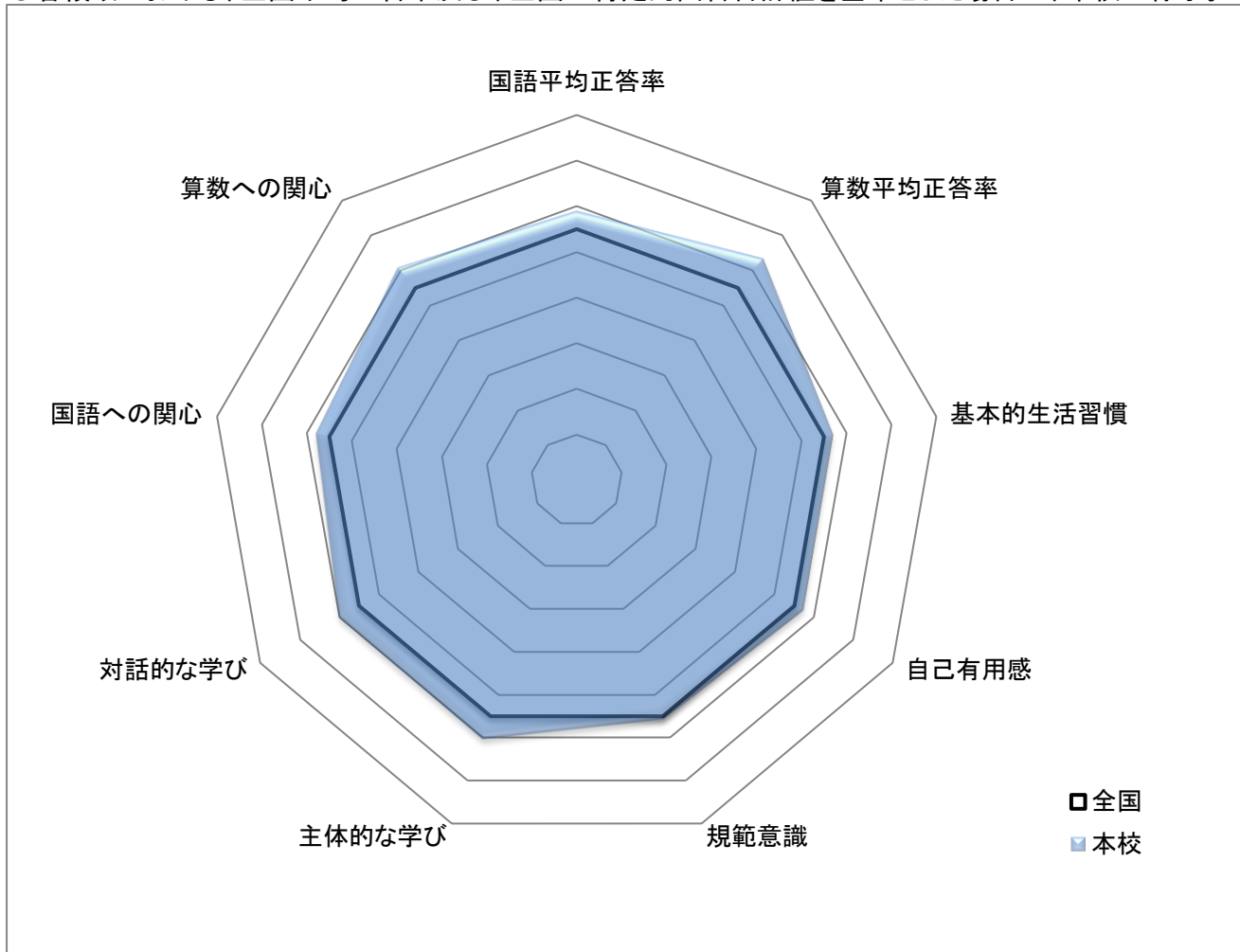


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

・国語、算数ともに、全国平均正答率を上回っており、基本的な学力の定着が見られる。

・「算数への関心」が特に高く、正答率にもつながっている。

・「主体的な学び」「対話的な学び」の項目が大きく上回っており、自ら学ぶだけでなく、学級の中で話し合っている様子や、学級の中で話し合っている日常の様子が反映されている。

《授業改善のポイント》

どの項目でも全国平均を上回っているため、更に授業改善を行い、学力向上を目指していく。

【国語】

・領域別の結果より、「話すこと聞くこと」の数値が他領域に比べて低い。本校の研究主題にも絡め、対話的な学習を教科横断的に行い、国語「話すこと聞くこと」の学習でそれらをまとめたり、補完したりする。

【算数】

・領域別の結果より「図形」の数値が他領域と比べて東京都平均との差が小さい。授業の中で、三角形や四角形などの簡単な性質を理解させ、様々な図形概念を論理的に考えさせる学習過程にしていく。また、朝学習の時間を活用し、ミライシードのドリルパークなどで、個人それぞれの課題に取り組めるようにする。

《チャートの特徴》

・全体的にきれいな九角形になっており、バランスのよい学習規律が身に付いている。

・どの項目においても、全国平均を上回っている。

・「主体的な学び」「対話的な学び」の項目が大きく全国平均を上回っている。

・「規範意識」は全国平均とあまり変わらないように見えるが、全国平均自体の値が高いため十分な数値と考えられる。

《家庭・地域への働きかけ》

・「規則正しい生活習慣」「学習習慣」を身に付けられるよう引き続き協力をお願いする。

・主体的・対話的に学んでいる普段の様子を家庭にも積極的に発信していき、子どもたちのさらなる自信につなげる。